

科目名	現代教育研究Ⅱ		
担当教員	大豆生田 啓友		
授業コード	764-1	単位数	2
授業の概要	本授業では、現代の教育学実践研究について、主に「乳幼児期の教育・保育」を手掛かりに展開する。というのも、乳幼児期の教育は教育を学ぶ上での根幹となると考えるからである。そこから、子どもの理解、子ども観・教育観、教育の方法・内容、教師の役割、子ども文化（絵本）、子育て支援等について学ぶこととする。 担当者の実務経験を活かした授業を行う。		
スクーリングレポート課題	『子育てを元気にする言葉』を読み、子どもを育てる上で大切なことは何か。テキストの文章と自分の問題意識を結び付けて、論じてください。		
提出要領	様式（縦書きor横書き）	ワード基本書式で（1枚800字）4枚で作成。横書き。講義日初日の講義中に教員の指示により提出	
	字数	3200文字以内。	
ワープロ使用可・不可	原則、ワープロ。		
到達目標	授業を通して、現代の教育実践の課題を学ぶ。		
授業計画			
時数	テーマ	内容	授業を受けるにあたって
1	イントロダクション	自分はなぜ「教育」について学んでいるのか。「教育」について学ぶとはどのようなことなのかを考える。	テキストを読んで参加する。
2	子ども理解①	子どもを理解するとはどのようなことなのか。実際の保育場面を手掛かりに、子どもを理解するワークを行う。	映像を見て、自分の意見を言う。
3	子ども理解②	前回の学びを踏まえ、さらに子ども理解を深める。ここでは特に、多様な子どもの理解について、ケースを通して考える。	事例を通して、自分の意見を言う。
4	多様な子どもの理解と そのかかわり	多様な特性を持つ子どもの理解を通して、私たちはどのように支援していくことが可能なのか、その在り方を考える。	討議の中で、自分の意見を言う。
5	遊びとは何か	子どもの「遊び」について考える。子ども時代の遊びはどのような意味を持っているかについて、映像などを用いて考える。	自分の知っている子ども時代の遊びについて、述べる。
6	遊びと学び	子ども主体の協働的な学び（プロジェクト）を通して、幼児期の遊びが小学校以降の学びと共通性があることについて学ぶ。	プロジェクト学習について調べる。
7	絵本について	絵本の魅力とは何か、自分が持参した絵本や受講者が持参した絵本を通して、その世界や教育の可能性について、考える。	自分のお気に入りの絵本を3冊持ち寄る。
8	絵本や児童文学の意味	絵本や児童文学が持つファンタジーが持つ意味についての理解、さらに乳幼児期の子どもに絵本を読み聞かせることの意味について考える。	自分のお気に入りの絵本3冊を持ち寄る。
9	現代の子育て	現代の子育てが家庭はどのような状況にあるかについて考える。現代の子育てが置かれている課題や背景について学ぶ。	自分や自分の親、知り合いのこの子育ての話題を持ち寄る。
10	子育て支援について	現代において、子育ては単に家庭のみの役割ではなく、社会的支援が求められる中で、子育て支援の在り方を考える。	子育て支援の在り方について考えを述べる。
11	教師の役割について考える（1）	映像を通して、教師の役割を考えます。これまで学んできた、子どもを「一人の人間としてみる」教師の在り方についてワークを通して考える。	自分の教師像について述べる。

12	教師の役割について考える(2)	21世紀型スキルが求められる子どもの教育に求められる新たな教師像について、事例を通して考える。	授業を通して学んだ教師像について述べる。
13	非認知能力を育てる(1)	子どもの後のびする力を育てる「非認知能力」(社会情動的スキル)とは何か。具体的な子どもの姿を通して考える。	非認知能力について調べる。
14	非認知能力を育てる(2)	最後のまとめとして、これから生涯にわたって大切な「非認知能力を」を大切に教育の在り方について考える。	非認知能力が実際にどうつながるかを述べる。
15	まとめと試験	これまでの授業内容についてまとめ、試験を通して自己評価を行う。	これまでの学びを整理する。
使用テキスト	大豆生田啓友著『子育てを元気にする言葉』(エイデル研究所) ISBN: 9784871686020 本体価格1,500円		
受講者が持参する教材	絵本を3冊持参していただく回がある。授業で説明する。		
参考文献	授業で説明する。		
成績評価方法	レポート(10%)、出席・授業態度(40%)、テスト(50%)		
その他受講者への指示/メッセージ	ワーク型を中心に行うので、テーマに関心を持ち、積極的に授業に参加し、全体の学びに貢献してください。		